Save the Children

子どもたち26人へのインタビュー

―子どもの貧困対策の見直しに際して―



はじめに

日本では現在、7人に1人の子どもが相対的貧困の状況にあります。子どもの貧困問題を解決するため、国は子どもの貧困対策推進法を定めており、主に ①教育の支援 ②生活の支援 ③保護者の就労に関する支援 ④経済的支援に力を入れるとしています。

2019年6月、この法律が改正され、次のことが新たに盛り込まれました。

（1） 子ども権利条約の精神にもとづき、「子どもの意見」を尊重しながら対策を進めること

（2） 子どもの将来だけでなく、「現在」の状況の改善に取り組むこと

子どもの権利を基本とし、子どもの意見を聴きながら対策を進める―この新しい方針を、子どもたち自身はどう考えるでしょうか。子どもたちの意見を聴き、対策に取り組む大人の関係者たちへ届けられるように、この冊子をまとめました。

子どもたちへの聴き取り概要

協力者への案内方法

【直接的な案内】セーブ・ザ・チルドレンが、これまでの活動を通じてつながった子ども・若者に対して、聞き取りの案内チラシを郵送。

【間接的な案内】地域の学校、NPO、児童養護施設などを通じて、子どもに案内。

上記2つの案内に対し、協力してもよいと申し出のあった子ども・若者に対し、個別インタビューまたはグループ・ディスカッションを実施。

インタビュー協力者

小学5年生以上18歳以下の子ども・若者26人（女性19人、男性7人）

概要

実施場所：【直接的な案内】協力者が行きやすい場所にある、児童館などの公共施設

【間接的な案内】協力者がつながっている学校、NPO、児童養護施設

実施体制：子ども・若者1〜6人に対し、セーブ・ザ・チルドレンのスタッフ2人。 学校、NPOは教員・スタッフも同席

実施方法：個別インタビューまたはグループ・ディスカッションを、それぞれ30分〜1時間半程度

実施期間：2019年9月〜10月

個人や学校名などが特定されることを避けるため、実施地域は非公表としています。

子どもが安心して話せるように配慮した点

・インタビューでは、わかりやすい言葉やイラストを使いました。（子どもの貧困や法律・大綱の説明、質問内容など）

・インタビューを始める前に、目的・実施方法・意見の発信方法・結果のフィードバックについて、説明しました。

・「話したくないことは話さなくてよいこと」「いつでも中断できること」「スタッフは子どもの意見を尊重すること」を伝えました。グループ・ディスカッションの場合、これらに加え、「他の人の話を外で話さないこと」「他の人の話をよく聴くこと」をお願いしました。

・できるだけ子どもたちの声を正確に伝えるため、子どもの同意が得られた場合は、インタビューを録音しました。

・インタビュー中で言えなかったことや嫌だったことがあったときに伝えられるように、セーブ・ザ・チルドレンの窓口を伝えました。

この冊子で掲載した子どもたちの声について

・子どもたちから聴き取った内容のうち、特に子どもの貧困対策推進法の4つの重点施策に関係する部分を中心に紹介しました。

・子どもたちの発言を正確に伝えられるよう、話し言葉や多少意味が伝わりにくい部分に関してもそのまま掲載しました。ただし、明らかな誤字・脱字はセーブ・ザ・チルドレンが修正し、一連の会話の中で明確ではあるものの、抜粋すると不明瞭であった部分に関しては括弧で補いました。なお、発言本文の太文字部分は、セーブ・ザ・チルドレンによるものです。

意見を聴かれる子どもの権利について

意見を聴かれること

【スタッフ：今日はどうして協力してもいいかなって思ってくれたのかな？】
あんまこういう機会がないと思ったので、せっかくならと思って。**こういうインタビューとか、そんななかった**ので。（18歳）

なんだろう。今まで大人に言っても全部、子どもだから屁理屈だとかしか言われたことなかったから、突然こういう風に聴かれるとすごい困るっつーか、困惑するんですよ。何言っていいのかなって。だからちょくちょくそういう**機会が増えたら、そういう不信感もなくなるかな**って思います。（高校2年）

言ったことないですね。**思っても言わないです**。思ったことを言ったら、なんか不愉快になる人もいるかなと思って。なんか接しづらくなる、その人と。（高校1年）

子どもが自分から発信とか行動した時には、大人からの反応が返ってきたりすることも多いんですけど、やっぱり自分から子どもたちが**何か行動を起こさないと、見てもらえない**のかなって思います。（高校1年）

【スタッフ：子どもたちの意見を聴くことが法律に盛り込まれたことついてはどう思う？】
聴かなさそう。子どもの意見じゃない他の問題もあるし、それがなかったとしてもあんまりまともに聴かないと思う。（18歳）

意見が尊重されるってあるんですけど、まずその**意見を聴く機会がいつあるのかな？**（高校3年）

自分たちが表現しやすいような場所をつくることがいいと思う。興味持ったのが、マララ・ユスフザイさんが国連かどっかでスピーチしてたじゃないですか。そこまで大きくはなくていいんですけど、先生と二人の部屋で話しやすい環境をつくるとか、町とかだったら、町の議会とかに行って意見を言うとか。**表現しやすい場所をつくる**ことで私たちも言いやすくなるから、そういう場を作ってほしい。（中学3年）

子どもの権利？問題？を大人の中だけで考えるよりも、やっぱりこういう話し合いみたいに、**子どもが自分たちの事を考えたり、一緒に大人と何か行動できる場が増えてほしいな**と思います。（高校1年）

望ましい意見表明のあり方

友だちとしゃべってたら（意見が）出るんじゃないですか。施設（にいる子）同士とか、お金がない同士で喋ったりとか。こういうのあったほうがいいよね、みたいな感じで。「時間制限（門限）なかったらめっちゃいいよね」とか「高校生はきついよね」とか「お小遣い5,000円もきついよね」とか。「バイト金でもいいけん使いたいよね」とか話したりする、結構。（高校3年）

身近に接する人のほうが話しやすいんじゃないかな。身近な人だとたぶん自分、心を開いていると思うんですよ。なので何でも話せる関係だと思うので、そういう人に話して、その人がどうにか国のほうに伝えてくれれば。【スタッフ：身近な人って、例えばどんな人？】親とか地域の人とか学校の先生とかですね。（高校1年）

個人の意見ですけど、一人ひとりに対してアンケートを配るより、3〜4人とかの、クラスとかで**グループごとになって話し合って**意見を提出するっていうほうが意見を出しやすいかなっていうふうに思います。書くってなると、真面目なことを書かないといけないかなって思ったりするので、友だち同士で共感できるねっていうふうにして、それを先生方だとか、県とかに言ってみるほうが伝わりやすいし、意見が出やすいと思う。（高校2年）

私たちのクラスで班活動すると、すごい盛り上がる班もあれば、5分って決められたら5分一言もしゃべらない班があるんですよ。だから私たちの班も全然一言もしゃべらなくて、意見まとまらなくて、結局テキトーに書いて出すみたいなことがあったりするから。そういう時は個人的にアンケートに書いたりするほうがいいかもしれないけど、でも**紙に書いたら残る**じゃないですか。だからそれの処理みたいなのがちゃんとされないんだったらずっと残ったりするから、それが残るのが嫌だなって思った時は口で言ったほうがいいと思う。（中学3年）

A：**意見出しにくい子**はそれで**緊張する**。しゃべれる子はしゃべれるけど。好きに書いて、みたいな。
B：個性で伝える。**一人ひとり好きなことで**。
（高校1年2人）

子どもが絵を描いているのを見て、**その絵からわかる**っていう、そういう（中略）状況めっちゃ伝わってくるやつあるじゃん。日記とか。（中学3年）

SNSとかで簡単に言えるようになったら、いいかな。たぶん、Twitterとかインスタとかやってる子の中にも、言えないかなみたいな子もいると思うので、面と向かってというよりかは、**文字で、指で打ったほうが言いやすい**んじゃないかな、って思います。（高校2年）

意見を聴かれる子どもの権利について

別の場所を設けて、何日にこういうのやりますって言っても、たぶんみんなめんどくさくて行かないから、**学校がいい**んじゃないかな。（中略）あまり話すのが得意じゃないとか、**自分の意見がすぐに出てこない人**っているから、書くほうが私も良いので**アンケートとかがやりやすい**んじゃないかな。【スタッフ：アンケートの頻度はどれくらい？】一年だと状況が変わると思うから、半年に1回くらい。（高校3年）

学校で（中略）何かしらのアンケートは来るんですけど、帰りの会のちょっとした時間とかだから、ちゃんと書きたいなって思ってても、**書けない時間**なんですよ。5分とか3分とか、集められちゃうから。（高校2年）

匿名の意見箱みたいな、匿名でいつでも言える感じのやつとか。子どもって、**どの年代から聴くかによって聴き方も違う**と思うんで。【スタッフ：意見箱はどこに設置されているイメージ？】学校とか。
【スタッフ：学校に行っていない子にはどうやって聴けるかな。】地域の行政がやる。**市役所とか役場**とかにも、そういうサービスができるような感じの紙とかあったらできるかなと思いました。（18歳）

逆に**しゃべれない子のほうがなんか重要なことを抱えてる**。家庭の問題とか抱えて、しゃべれないみたいな。しゃべれない子にも、そういうの聴いたほうがいいと思う。（中学3年）

（うまく）伝えられないというか。**人数多いとその分意見が多くなるから話しづらい**。【スタッフ：何人くらいだと話しやすい？】多くなくていい。少ないほうが。一人か二人、三人は多いと思う。二人くらいがちょうどいいんじゃないかな。聴く人一人と、生徒たちだったら大丈夫なんですけど、自分一人で聴く人が何人もいると（緊張する）。（高校1年）

顔見知りくらいの人がいてくれたらいいのかなって思います。全く知らない人と、割と話したりする機会が多い人、っていうよりかは、ちゃんと大人として接することができる人であり、でもあまり深い関係じゃない人っていう人がいいのかなって思いますね。なんていうんですかね、まったく知らない人だと緊張して話せないし、かといって知っている人だと気軽に……なんだろう。気軽に話しすぎちゃう？ちゃんとした意見じゃなくなる？授業とかでもふざけたほうがおもしろいかなって、性格上思うんですよ。**大人として尊敬できる人がそういう場に立ってほしい**かなって思います。（高校2年）

子どもの意見を聴くためにそういう国が作る団体的な、そういうのを使って聴いて、聴いたやつを国に「こういう意見があるんですけど」みたいな、そういうのをやればいいと思う。（高校1年）

嫌な意見表明のあり方

しつこい人は嫌ですね、あと武勇伝を語る人とか。**偉そうに聞く**のはちょっとよろしくないかな。あと何言っているかわからない、声小さい人とかいると聞き取りづらくて何言っているかわからないから。（高校1年）

無理やりはだめだと。（中学3年）

個人情報を全部聞かれる。（18歳）

A：**手をあげてないのに**当てられるのやだ。
B：ただ話聞いて、おもてづら良くして、中身がだめだったら意味ねーじゃん。いるじゃん、よくそういうの。
A：手あげてるのに、**自分だけ当てられないのやだ**。
（A：小学5年、B：中学3年）

一対一とかだと。今はいいですけど。嫌な先生と一対一で面談ってなると、言いづらいでしょっていう感じですかね。県から来ました、町から来ましたっていう人が**目の前に座られて一対一**で話す、ってなると何もしゃべれなくなっちゃうかな。（高校2年）

教育の支援

教育費／授業料

【スタッフ：今の日本で、子どもたちはどこでも安心して学べているかな？】
義務教育があるから、大丈夫なんかなと思うけど、中にはできていない子もいるんじゃないかなって思います。（中略）**自分で学費を払っている人がいるんじゃないかな**って思います。（中学3年）

学校に通うっていうことはお金もかかりますけど、それは子どもがやるべきことだなって思いますね。（中略）最近感じたことなんですけど。家庭が荒れているから学校に行かないっていうのは、ちょっと違うかなって思うんですよね。なんて言ったらいいんだろう。母子家庭でお金がないから学校に行かないとかは、あっちゃダメなことだと思いますね。【スタッフ：自分が貧困対策の大臣だったら？】私立、国公立、専門学校とか関係なく、**高校卒業後の学ぶ機関を全部無償**にしたいです。（高校2年）

私は**やっぱり奨学金の充実**ですかね。今にだけ投資しても、子どもの未来のために子どもに投資してもらったほうが私たちもやりたいこと、選択肢も広がるし、将来の選択肢も増えるんじゃないかと思います。（高校1年）

教材費／制服代

【スタッフ：高校にかかるお金で変わったらいいなと思うものはある？】
教材ですかね。難しくなれば難しくなっていくほど、**学校で用意してくれないテキストは自分で買う**っていう人が多いと思うので。そっちにみんなお金をかけたいと思っていると思うんですよね。学校で使う教科書だとかは負担してくれたら、貧困とかで勉強できないのはなくなるのかなと思いますね。（高校2年）

本当にお金欲しいです！好きなアーティストのCDとか買いたいし、検定もいっぱい受けてみたいし、問題集欲しいなーとか思うので。私、いま商業系のコースにいるので、情報処理とか、ビジネス文書の問題集とか。今の副担任の先生が家庭状況のことをわかってくれてて、貸してはもらってるんですけど、その先生の担当じゃない商業科のものってあって、だから別の**先生に問題集を貸してって言って、貸してくれなかった時もあるから、やっぱり自分で買ったほうがいいのかな**ーって思って。（高校2年）

A：服欲しい。**古着ではない洋服がほしい**。めっちゃほしい。古着でもズボンとかジーンズはいいけど、上の服は嫌だ。下は古着でもかわいいけど、上はちょっと気持ち悪い。（新しい服が）なかったら、いじめの対象になるんじゃね。古い服ばかり着てたら。
B：**だから制服着るんじゃない**。
A：制服だったら金かかるじゃん。だから払えない人がいたらどうする？**払えない人は着れないじゃん、そしたらまた差別じゃん**。そしたら税金意味なくね？
（A：中学3年、B：小学5年）

給食費／交通費／部活費用

国からの補助があったりとかしたほうが、一人だけお弁当持って行って、みんなになんでだみたいに言われるよりも、返済しなきゃいけないとかがあったとしても、**その時はみんなと同じ給食を食べれたほうがいい**と思うから、補助してほしいな。（中学3年）

A：学校の集金。だって集金がくるのは（親の）給料日前だから。絶対。**集金をなくせ**。そんなの先生たちが勝手に決めてるだけじゃん。**だって、毎月8,000円とか9,000円とかなんだよ**。この間なんて○○（地名）に行ったの9,000円なんだよ。なんで集金が必要なのかがわかりません。
B：**行く人と、行きたいけど行けない人とか出てくる**から、なくしたほうがいいよ。
（A：小学5年、B：中学3年）

あ、△△（近くの地域名）だと、小学校まで距離がある所とかは、**親同士がお金を出し合ってタクシー**で小学校まで送って行ってるって聞いて。ここらへん近辺はスクールバスがでているんですけど、△△（その地域）では出ていないっていうのがびっくりで。出されないのは人数が少ないと言ってもよくないかなと思います。（高校2年）

吹奏楽は部活**Tシャツに2,000円**くらい、それと毎月部費が1,000円くらいあって、結構お金がかかったなと思うし、逆にサッカーとかだと一式そろえなきゃいけなかったり。エナメルバックもみんなで一斉に買わなきゃいけない部活があって。そういうところはやっぱり、**家庭の事情で無理**って、入るのを諦めてしまう子は多いかなと思います。（高校3年）

教育の支援

学校外教育（塾など）

（塾へ行く行かないの）差が学校では出る。塾に行っている人はめっちゃわかってる。授業で答えれるけど、**塾に行ってない人はわかんないっていうか。置いてきぼりにされてる感じ**。（中学3年）

【スタッフ：（塾）行きたい人は行けるべきだと思う？】
将来のために。
【スタッフ：学校の勉強だけじゃ足りない？】
足りない時もある。
（小学5年）

金持っている人は勉強できるじゃん。金持ってない人は塾とか通えないから、差別になるじゃん。金持っている人はいろんなもの持ってるじゃん。だけどそれも、金持ってない人に合わせたらいいと思う。金持っている人、差別でいじめるじゃん、持ってない人を。最初っから、そういうところからなくせばいい。塾とかなくせば、一からできるから。（中学3年）

進学／大学費用

私もお金がないわけじゃないし、困っているわけじゃないけど、**経済格差を一番感じるのは進学**なので。私もある大学に奨学金を申請したんですけど、学力が足りなくて借りれなかったんですよ。誰にもあげれるわけじゃないから学力で分けるっていうのはわかるけど、勉強ができなくてもそういう子が**大学行ってがんばれるような支援**がもうちょっと欲しいなと。（高校3年）

（遠方の学校への進学について）**地方関係なく、どこでも高校に行きたい**。（中略）親にダメって言われたら行けないじゃん。無理やりじゃないと行けないじゃん。親に言わなくても、この辺の高校に行くような軽いくらいのレベルで行けると良い。めんどくせーじゃん。親に言ってＯＫもらわないと先生に言えないじゃん。受験できないじゃん。家借りれないじゃん。（中学3年）

勉強する環境

暗記系は静かじゃないとやりたくないみたいなのもあるし、あと図書室とかもすぐ閉まっちゃうしみたいな感じで、そしたら時間にも迫られてるし、やること多いし、安心できないから。高校生とか中学生が行けるようなセンター的なのを作ってほしいなって思います。とりあえず**私語厳禁みたいな、黙ってろみたいな部屋がほしいなーって。勉強したいですね**。（高校2年）

図書館が勉強しちゃいけないみたいな。別に学習スペースはあったんですけど、ずっと閉めきっているから空気も悪いし、私もあんまり長居できなくてすぐ帰ったりしたんで。公共施設はもうちょっと快適に**勉強できるようなスペースを作ってほしい**な。【スタッフ：勉強できる場所として、どこがある？】図書館以外思いつかない。高校の友だちはマックとかスタバとかで勉強してる子が多いんですけど、そこは**買わなきゃいけないじゃないですか**。スタバとかだと高いので。（高校3年）

（勉強できる）場所があったら**やる気が出る**。（学年非公開）

個別のサポートなど

出席番号（で）隣の男の子がいたんですけど、その子が中2まではちゃんと学校に来て勉強してたんですけど、定期テストが終わった後に（中略）たぶんその子が最下位だったんですよ。中3の時に隣になったら、テストが始まって10分も経たないうちに寝てたんですよ。中1中2でやっても意味がないってそういう風に思ったのか、テストも諦めてたんですよ、たぶん。高校にはちゃんと行ったんですけど、半年も経たないで辞めて、今どうしているかわからない。そういう子がいるから、先生がもっとサポートするべきだったし、**勉強しても意味がないと思わせた学校がよくなかったんじゃないかな**と。生徒と先生のつながりと、先生が生徒にどう関わるかっていうのを見直さないといけないかなと思う。
【スタッフ：どういう風に関われたらよかったかな？】個別に指導するとか。なんだろう、もうちょっと個人に……なんか教育相談みたいな週間があって、**先生と生徒一対一で話す機会**があったんですけど、そういうのをその子だけもうちょっと増やすとか。先生がその子の意見とか思っていることを、ちゃんと聴く機会がもうちょっとあったらいいんじゃないかな。（高校3年）

生活の支援

子どもの居場所づくり／多様な経験

最近公園とかも減ってるし、**集まれる場所が、友だちと、あんまりなかったり**するから。交友関係とか築くにはやっぱり家に集まれるのだったらいいよね。逆に公園じゃなかったら、**外はお金がかかる**ところのほうが多かったりする。（高校1年）

ずっと勉強とか、ずっと部屋におるだったら、**なんか、病んでる**けん、ストレス発散するために外でいっぱい遊びたい。（学年非公開）

友だちの話聞いていたりすると、家のうんぬんが～とか、バイトが～とかいろいろ大変そうで。だから**みんな休んでほしい**なって思ってます。【スタッフ：そういう子が多い？】多いっていうか、いて、それでなんかSNSですごい荒れてたりすると、どう声かけていいんだろう、ってなって。（高校2年）

（自由に過ごせる）時間がなかったら……。時間がなかったら、普通に、**ストレス**とかで、俺なら自殺しそうですね。（高校3年）

学校以外で習い事とかしている人はまだあると思うけど、何もやっていない子は、学校以外のコミュニティーがあまりないというか、**大人と子どもの関わりが少ない**かなと思います。（高校1年）

相談できる場所・環境

相談できる窓口とかがあったら、**誰でも気軽に行ける窓口があれば**、安心するかなって感じっす。電話かけようとしてもどうかければいいかわからないじゃないですか。気軽に歩いてとか、自転車とかで行って相談するみたいなのがあってほしいなと思う。その人に合った対応の仕方でしてくれればいいんじゃない、みたいな感じっすね。（高校3年）

親が虐待するケースだと親には絶対に言えないから、それを言える場所があればいいなっていうのと、そういう場所があるっていうのを子どもが知れるようなのがあればいいな。児童相談所とか**名前からして入りづらい**し。世間体とかも気になるからちょっと、柔らかいイメージの入りやすい施設があるといいな。児童相談所って言われても**何をしているかわからないから、相談に行けるのかもわからない**し、親身になって答えてくれるのかもわからないから、何をしているのかわかればいいかな。（高校3年）

どことは言えないんですけど、しゃべりやすいところかな。例えば、病院とかそういう系だと行きづらいじゃないですか。だから例えば、こういうセンター（子どもも利用できる公共施設）のところに、**「いついつ来るよ～」みたいにやってほしい**かなって思いました。（高校2年）

私が見ようって思うパンフレットは、**写真が多かったり**とか。文字ばっかりが書いてあるとどうしても見たいと思えないし。**自分に関わり**があるような、興味があるような記事は読もうって思うので、子どもが興味を持てるような。（高校3年）

対象が子どもでも、小っちゃい子どもとかだったらＥテレとかで、**ひらがな多め**に使ったりして届けるとか。そこまで子どもでもなく大人でもなくくらいの人には、学校を通してのほうがわかりやすいかなって思います。（中学3年）

学校が一番早くないっすか？学校の全校集会で、**1ヶ月に1回くらい「こういうのありますよー」**みたいな感じで言えば、気になる人は行くんじゃないですか？プリント作るとか。（高校3年）

学校が総合の時間とかで、選挙（権）が18歳になった時に弁護士さんが説明に来たりとか……児童相談所もそういうことをしたりとか、パンフレットを作るとか。それを、子どもが集まるのは学校だと思うから学校で配ったりすると、**見ない人とか聞かない人とかもいるかもしれないけど、大半は知る**かなと思います。（高校3年）

SNSもやっぱりわかりやすかったりするんですけど、そもそもそれが使えなかったりする状況にある人もいると思うので、**いろんな媒体で、紙でもラジオでも**いろんなところで情報が発信されると、伝わりやすいのかなって思います。（高校1年）

保護者の就労に関する支援

労働環境

やっぱ、国の制度でなんとかするしかないかなと思ってしまいますけど。あと、**親の給料、家の世帯の所得がもっとあがれば、少しはましになる**かなとは思うんですけど。（18歳）

ニュースにもなっているくらいの大人が問題だと思っているようなものからしっかり解決しないと、**大人の意見すら聴いてないのに、子どもの意見を聴けるのか**、とか思ってしまいます。やっぱり過労死とか、一時期、労働災害とか多かったので、そこの管理とかを厳しくしたほうがいいのかなと思います。【スタッフ：子どもにとっては親も働いているから……。】はい。（18歳）

採用するしないを（中略）**出た学校だけで決めない**ようにすることを、国が会社に言えばいいと思う。（中学3年）

学校の休みを全部3連休にしてほしい。疲れが取れない。だってすぐ（親に）起こされちゃう。**（親と）休みが合わなくてどこにも出かけられない**。土日は（親が）休みじゃなくて、月曜しか休みないから、土日（親と）一緒に出掛けられない。振替休日たまにしかないから、その時しか（親と）遊べないの。（小学5年）

意見を聴かれる子どもの権利を実施するための基本的要件

1. 透明かつ情報が豊かである　子どもたちは、自己の意見を表明し、かつその意見を正当に重視される権利ならびにこのような参加が行なわれる方法、その範囲、目的および潜在的影響についての、十分な、アクセスしやすい、多様性に配慮した、かつ年齢にふさわしい情報を提供されなければならない。

2. 任意である　子どもたちが意思に反して意見表明を強要されることはけっしてあるべきではなく、また子どもたちにはどの段階でも関与をやめてよいことが知らされるべきである。

3. 尊重される　子どもたちの意見は敬意をもって扱われなければならず、また子どもたちにはアイデアおよび活動を主導する機会が提供されるべきである。子どもたちとともに活動しているおとなは、たとえば家族、学校、文化および労働環境に対する貢献における子ども参加の好例を認知し、尊重し、かつ発展させていくことが求められる。子どもたちの生活の社会経済的、環境的および文化的文脈についての理解も必要である。子どもたちのためにおよび子どもたちとともに活動している者および組織も、公的イベントへの参加に関して子どもたちの意見を尊重するべきである。

4. 子どもたちの生活に関連している　子どもたちが意見表明権を有する問題は、その生活に真に関連しており、かつ子どもたちが自分の知識、スキルおよび能力を活用できるようなものでなければならない。加えて、子どもたち自身が関連性および重要性を有すると考える問題に光を当て、かつ対処できるようにする余地も設けられる必要がある。

5. 子どもにやさしい　環境および作業方法は子どもたちの力量に合わせて修正されるべきである。子どもたちが十分に準備を整え、かつ意見を表明する自信および機会を持てることを確保するため、十分な時間および資源を利用可能とすることが求められる。子どもたちは、その年齢および発達しつつある能力にしたがって異なる水準の支援および関与形態を必要とすることが考慮されなければならない。

6. インクルーシブである　参加はインクルーシブであり、現存する差別のパターンを避け、かつ周縁化された子どもたち（女子と男子の双方を含む）が関与する機会を奨励するようなものでなければならない（前掲パラ８８も参照）。子どもたちは均質的集団ではなく、参加は、いかなる事由に基づく差別もなく、すべての子どもたちに対して均等な機会を提供するようなものである必要がある。プログラムにおいては、あらゆるコミュニティ出身の子どもたちに対して文化的配慮を行なうことも確保されなければならない。

7. 訓練による支援がある　おとなには、子ども参加を効果的に促進するための、たとえば耳を傾けること、子どもたちと共同作業を行なうことおよび発達しつつある能力にしたがって効果的に子どもたちの参加を得ることに関わるスキルを身につけるための、準備、スキルおよび支援が必要である。子どもたち自身が、効果的参加を促進する方法についてのトレーナーおよびファシリテーターとして関与することもできよう。子どもたちには、たとえば効果的参加に関わるスキル〔および〕権利意識を高めるための能力構築、ならびに、会議の組織、資金集め、メディア対応、公の場での話およびアドボカシーに関する訓練が必要である。

8. 安全であり、かつリスクに配慮している　一定の状況では意見表明がリスクをともなう可能性もある。おとなはともに活動する子どもたちに対して責任を負っているのであり、子どもたちに対する、暴力、搾取、または参加にともなう他のいずれかの否定的結果のリスクを最小限に留めるために、あらゆる予防措置をとらなければならない。適切な保護を提供するために必要な措置には、一部のグループの子どもたちが直面する特別なリスク、および、このような子どもたちが援助を得る際に直面する追加的障壁を認識した、明確な子ども保護戦略を策定することが含まれよう。子どもたちは、危害から保護される権利を認識し、かつ必要な場合にどこに行けば援助を得られるか承知していなければならない。参加の価値および意味合いに関する理解を構築し、かつしかるべき対応がとられない場合に子どもがさらされる可能性のあるリスクを最小限に留めるため、家族およびコミュニティとの協働に投資することが重要である。

9. 説明責任が果たされる　フォローアップおよび評価に対するコミットメントが必要不可欠である。たとえば、いかなる調査研究および協議のプロセスにおいても、子どもたちは、その意見がどのように解釈および活用されるかについて情報を知らされ、かつ、必要なときは、知見の分析に異議を申し立てかつ影響を及ぼす機会を提供されなければならない。子どもたちはまた、自分たちの参加がいずれかの結果にどのような影響を及ぼしたのかについても、明確なフィードバックを提供される資格を有する。子どもたちは、適切な場合には常に、フォローアップのプロセスまたは活動に参加する機会を与えられるべきである。子ども参加のモニタリングおよび評価は、可能な場合には子どもたち自身とともに行なわれなければならない。

子どもの権利委員会・一般的意見12号「意見を聴かれる子どもの権利」
パラグラフ134、平野裕二訳
https://w.atwiki.jp/childrights/pages/22.html

経済的支援

生活の基本的なニーズついて

お金がないと困ること……全部。（18歳）

お金で人間関係が変わるのは嫌だ。なんかお前はお金がないから、持ち物が汚いから嫌だみたいな、言われたりするのは嫌。（中学3年）

なんか持ち物とか、周りの子どもと違いがあったりして、劣等感というかなんか自分だけ違うなと思ったり、もしかしたらそれが**いじめにつながるかも**しれないとか。（18歳）

破れたＴシャツをずっと着ている子がいて、それでも部活とかはちゃんとやってたし、高校にも行って塾にも行って、どっちなのかよくわからない。**お金に困っているってなかなか言わない**から、友だちでもお金持っているのか持っていないのかって、あまりよくわからない。（高校3年）

Ａ：全部おさがりとか、全部これ着なさいだと、ちょっとあれかもしれないけど。
Ｂ：半々だったらまだいいかな。【スタッフ：全部おさがりだったら嫌だ？】うん、選ぶ余裕があるんだったら、**一着くらいは自分が好きなもの選びたい**。
（Ａ：高校1年、Ｂ：中学3年）

説明しにくいけど、子どもで一番ダメなやつが、**ケガとか熱とか放置される**のが結構何回かあったし、それをなくす。きつい思いしているのに、「また演技だろ」とか言われたりしたんですよ。それをなくしたい。（高校3年）

自分は正月にもらったお年玉で一年間やりくりしてやっていたので、別に大丈夫だったんですけど。お年玉もらえないってなると、お小遣い必要なのかなと。【スタッフ：何かしらのお金がないと厳しい？】**厳しい**。学校で使う用具とか、あとほんのたまに服買ったりぐらいですかね。文房具ですね。（高校1年）

今って、プログラミングとかパソコンの使える使えないで結構**就職活動に影響でたり**とかあって。（高校1年）

（誕生日などは）特別な日のお祝いだから、すべての子どもたちに（お祝いされる機会を）持ってもらいたいし、誕生日ってみると自分が生まれた大切な日だから、**すべての子どもたち、祝ってほしい**なと思って。（高校1年）

経済的支援の方向性

Ａ：**子どもの年金制度を作る**。
Ｂ：年齢によって、（もらえる額が）上がっていく。
Ｃ：生活保護でお金を、子どもがおる分だけあげる。
（高校1年3人）

今も授業料無料とか、地域によって医療費全額（公費）負担とかあるのを聞いたことがあるのですが、今あるものをもっとちゃんとするというか、強化するみたいな。今も色々とやってても、正直恩恵を受けていない世帯とかもあるから、日本にも貧困の問題があると思うので、**今ある制度をもっとちゃんとできるような感じに**したほうがいいと思う。（18歳）

なんか年収とかあるじゃないですか。それで大体どのくらいっていうのを―あんまりしないほうがいいかもしれないけど―いったん決めて、そこより少ないところへの**支給する額を増やしたり**とか。やっぱり食べないと生きていけないから、十分なご飯を食べることができたり、教育とかにあてることができるようになると思います。（中学3年）

自衛隊って軍艦とか持ってるじゃない。それで軍艦とか必要、絶対必要ないって言ってるのに使ってる、ってのは問題になってるし。今年たしか1月とか3月とかに、いっぱい無駄に飛行機みたいな。あれに金をいっぱい使うくらいなら、勉強とかに使ったほうがいいんじゃないかなって思う。**子どもたちに使えばいいんじゃないかなって**。**勉強できない子とか**。軍艦とかどうでも、重要だけどさ、20機とか必要ある？って思って。だけん、それは勉強とかそういうのに使えばいいじゃん？って思って。そういうのに使っていけば、話がなるのに。（中学3年）

サポートを求めやすい環境づくり

【スタッフ：支援をもらっているのがわかると気まずいと思ってしまうという話も聞くのだけれど、気まずいなって思わないで、必要な子たちがお金をもらえたりするやり方って、どんなのがいいかな？】
でも、**子どもはもう、生きる権利第一じゃん**。自分が貧しかったらどうなるのってなるから（もらっていい）。（中学3年）

【スタッフ：貧困にある7人に1人の子どものために何がしたい？】**平等法**。金持ちだけに色目をつかうんじゃなくて、お金持っていない人でも同じに接する。
（中学3年）

経済的に何か助けがほしいなっていう人がためらうことなく、使うことができるじゃないですけど、情報が結構わかりにくかったりすると、**使いたくても使えなかったり**、なんていうんだろう、**躊躇して使わない人もいる**かもしれないので、相談して、「気軽にそういう話を受け付けますよ」じゃないですけど、わかりやすく、使いやすくなるような情報発信があればいいなと思います。（高校1年）

世界に比べて日本の貧困って見えないから、**隠している子って多い**と思う。お金がないことで困っていることを周りがわからないから、うーん、相談をできなかったりとか、生活保護とかもあるけど、**借りれるのを知らない人もいる**と思うから、そういうののコマーシャルをつくるとか、みんなに知ってもらえるような。直接的な援助だけじゃなくて、そういう援助していることを知ってもらえるようなことをやりたいなと思います。（高校3年）

普通に接する。普通の生活ができる人と同じように接する。お金がないから遠慮がちに話すとか、**お金がないから差別する**とかそういうのがあってはいけないと思うから。（中学3年）

A：お金の問題で学校に来れない人がいても、そんなに気にしすぎないじゃないですけど、声はかけてあげても、干渉しすぎないのも大事かなと思います。
B：なんかお金がないっていうよりは、保健室に登校している子が何人かいるんですけど、そういう子たちが小っちゃくなってたりするから、話さないほうがいいかなって思うときは話さないんですけど、話してみて楽しそうにしてたとかだったら、昼休みとかに**「あ、やっほー」くらいの軽い感じで話しかけに行く**ことがあって、それでその子もしゃべってくれたりしたから私も楽しいし、向こうもたぶん楽しんでるから、そのほうが相手にとっても嬉しいかもしれない。
（A：高校1年、B：中学3年）

【スタッフ：支援を得ている人について、その子ばっかりもらってずるいって言ったりする人も時々いるのは、どう思うかな？】
A：それはたぶんその人の勘違いじゃない？
B：**ずるいっていうのは**……。
A：それは**おかしいんじゃない**？
B：おかしい……っていうか、もし逆の立場になったらわかると思う。逆の立場になってないから、そう言ってるだけかもしれない。
A：そうそう。考えてない。周りの人が考えてないだけ。
B：ずるいはない。じっくりもうちょっと考えてほしい。
適当に考えるんじゃなくて、ちゃんと考えてほしい。
（A：中学3年、B：学年非公開）

調査・研究

実態把握の必要性

勉強とか学校に関することは、**学ぶのはやっぱり子ども**だったり自分たちだから、そういうことは（子どもに）**ちゃんと聴いたほうがいい**と思う。（中学3年）

【スタッフ：貧困対策の担当大臣だったら、何をしてみたい？】
視察に行きたい。学校行って、**貧困の人がどういう感じで勉強してたり、どういう感じなのかなっていうのがわからないと話にならない**から、一回そういうのを見てから、やろう、こういう政策いいんじゃないみたいなのをだそうかなって思います。あとはもう、その政策を体験した人たちに、アンケートとかとって、それで賛成が多かったら、ちょっとその範囲を広めてみるとか。（高校2年）

うーん……**お金なくて働いている子どもたちがどういう仕事しているのか**っていうのを自分が体験してみる。子どもなので仕事するって大変じゃないですか。だからこんなにつらい、っていうか苦しい思いして仕事しているのを体験して、こんなにがんばっている子どもがいるし、さらに貧困をなくすためにがんばって何かしてあげないといけないな、という思いをするためにしたほうがいいと思う。（高校1年）

「一回、大人も学校来てみませんか」っていうのを一番言いたいです。たぶん貧困対策とかいじめとか、結局自分たちが経験してなきゃわかんないし、大人ってもともとは学生なわけで、たぶんその**学生だった時のもどかしさとか不安とかを忘れてると思う**んですよ。だから学校をもう一回経験して、この変えたいけど変えれないっていうもどかしさとか、意見がなんとも伝えられないっていう**この感じをわかってほしいです。大人も学校来い！**って感じですよ。（高校2年）

検証・評価

子どもたちへのフォローアップの必要性

【スタッフ：どうしたら意見を出しやすいかについて話を聞かせてくれたけれど、そこで話した内容は誰かに伝えたりする？】
いや、伝えたとして、上に言うとか言っておきながらそこで止まる場合が多いから、言っても意味ねえやと思って。（中略）一回、児童相談所に相談したんすけど、**聞くだけ聞いてそこで終わったり**とか何回もあるし。子どもからしたら、それ何回もやられとったら信用がないっすね、大人は。【スタッフ：自分の希望が叶わなくても、こう考えた結果こうなりましたよ、ってきちんと説明がされたらどう？】それは納得するんじゃないですか。（高校3年）

A：（以前アンケートに）協力して、「協力ありがとうございました」って最後に書いてあったんですよ。で、アンケート書いて出したけど結果がわからないから、「協力したのに結果も教えられないの？」って思いました。「えー？」みたいな。**その後も一緒に教えてほしい**。
B：結果がどう反映されたかの報告があるといいんですけど、それがないとやっぱりアンケートで何が変わったんだろうと思ったりするので。
A：答えるんだったら結果を教えてほしい。
（A：中学3年、B：高校1年）

子どもの権利など

子どもの権利

【スタッフ：自分の権利が守られていると思う？】
A：（権利が）あるのとないのと差がわからないので、特に。
B：子どもの権利を大事にすることは、家で守られてない。好きなこととかすると全否定されるんだもん。**子どもの権利を大事にすることが、めっちゃ大事**、家でも大事。言ってもダメって言われるばっかりで。だから意味ないじゃん。
（A：小学5年、B：中学3年）

子どもの権利条約、大人にもちゃんと知ってもらって、それを知ったうえで子どもに接してもらいたいみたいな。（中略）親と一緒に暮らせない場合とか、親の暴力・ひどい扱いから守られる権利を持っているとかあるから、そういうの親が知らなかったら親からされるから。親にもちゃんと子どもの権利条約を知ってもらいたいし、みんなに知ってもらいたい。（中学3年）

最近虐待とかのニュースもあるから、**安心して生活できる**ような、家じゃなくても場所がある事が一番いいことかなと。（高校3年）

【スタッフ：子どもが今と将来を生まれ育った環境で左右されないことを目指すって、政府は言ってるんだけど。】
無理、っすよね。施設とか入ってたら、それで馬鹿にされて、学校に行かなくなったりする人も結構いるから。そういうの考えたら、無理なレベルは作らないほうがいいと、子どもの意見では思う。（中略）学校のルールとかでもあるじゃないすか。**守れそうにないことを作るけど、それで守らなかったら、先生たちに怒られる**、みたいな感じ。それちょっとおかしいんじゃないかと、ずっと思ってて。守れないルールを作ったの、君たちでしょうって思う。とか校長でしょうとか、上のほうが作ったんだけん。ま、うん、作る時はちゃんと、考えて作ったほうがいいんじゃないって。（高校3年）

自由に生きたい。（小学5年）

【スタッフ：子どもの法律が作られるときって、自分も法律作るのに関わりたいなって思う？】
みんながいたらいけるかな？みんなの意見があるから。みんないないと、話がまず成立しない。自分から関わりたいというか……それはよくわからない。けど、「話して」とか言われたら、ずかずか言える。**みんながいたら、話せます**。（中学3年）

夢や希望を持つこと

例えば、お医者さんとかになると大学に行く費用とかかかるのかなと考えて、じゃあ私の家は母子家庭だから、貧しいから、お医者さんにはなれないなっていうのは、よくないかなって思います。**私の中で子どもにとって最も良いこと**（最善の利益）は、夢を見つけてそれを実現できることかなと思います。（高校2年）

夢や希望って、ある程度の教養、知識がないと持てないもの。**希望、未来を考えるのって過酷やったら……**（できない）。過酷な環境がなくなればいいな。（高校1年）

夢や希望っていうのが、なんかみんな見てると思うんです、ちっちゃい時は。だんだん自分の家庭の状況がわかってくると諦めちゃう子が多いから、そこを**どう諦めないようにさせるかが、国に変えてほしい**なと思います。（高校3年）

子どもの権利条約

第12条　意見を聴かれる子どもの権利（意見表明権）

1. 締約国は、自己の見解をまとめる力のある子どもに対して、その子どもに影響を与えるすべての事柄について自由に自己の見解を表明する権利を保障する。その際、子どもの見解が、その年齢および成熟に従い、正当に重視される。

2. この目的のため、子どもは、とくに、国内法の手続規則と一致する方法で、自己に影響を与えるあらゆる司法的および行政的手続においても、直接にまたは代理人もしくは適当な団体を通じて聴聞される機会を与えられる。

子どもの権利条約／民間訳
https://www.savechildren.or.jp/about_sc/kodomono_kenri/minkan.html

Save the Children



セーブ・ザ・チルドレンは、生きる・育つ・守られる・参加する「子どもの権利」が実現された世界を目指して活動しています。子どもの貧困問題解決事業では、子どもの権利条約の権利を守る前提となる四原則のひとつである「子どもの意見表明権」に着目し、子どもが意見表明をする機会をつくる活動を実施しています。
2019年は本冊子のインタビューと、子どもの貧困と子どもの権利に関する全国市民意識調査を行い、子どもたちの声を社会に届けました。

子どもの権利に関する意識調査報告書
『子どもの権利条約 採択30年 日本批准25年3万人アンケートから見る子どもの権利に関する意識』は
こちらからダウンロードできます。
セーブザチルドレン 3万人アンケート　検索

【お問い合わせ先】
公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン　東京事務所 国内事業部
〒101-0047　東京都千代田区内神田2-8-4　山田ビル4階
TEL: 03-6859-6869　FAX: 03-6859-0069　E-mail: japan.soap@savethechildren.org
https://www.savechildren.or.jp/

2020年1月発行